

ようこそ小郡市へ！

小郡市は、宝満川や花立山といった緑豊かな自然に恵まれ、小郡官衙遺跡群をはじめとした史跡や伝統文化が数多く残っているまちです。福岡市や久留米市に近く、高速道路や鉄道が市域を縦横に走っているという交通利便性の高さを背景に、今日まで着実に発展し続けています。

この「小郡市暮らしの便利帳」は、広告主の皆さまのご協力のもと、(株)サイネックスと協働で作成したもので、市役所でのさまざまな手続きや公共施設などの行政情報のほか、歴史や文化、観光、特産品などの地域情報を掲載しています。

ぜひ、身近なところに置いていただき、市民の皆さまの生活にお役立ていただけたら幸いです。

小郡市 暮らしの便利帳 INDEX

● ようこそ小郡市へ！	1
● INDEX	2
● ライフサイクルINDEX	4

🔍 小郡市ガイド

● 小郡市のあらまし	6
● 小郡市のあゆみ	8
● 小郡市マップ	10
● 年間イベントカレンダー	12
● 七夕の里おごおり	14
● 恋人の聖地	16
● 歴史・文化	18
● 自然・景観	20
● 特産品	22
● 小郡市生涯学習センター	24
● 小郡市立図書館／ 野田宇太郎文学資料館／文化会館	25
● 小郡市コミュニティバス路線図	26
● 総合保健福祉センター「あすてらす」	28
● 行政ガイドINDEX	29

🚶 もしものときに

● 地震のときの10のポイント	30
● 風水害対策	31
● 避難所一覧	32
● 災害から身を守る	34
● いざというときの必需品	34

🏢 市役所案内

● 行政機構図	35
● 庁舎配置図	36

📄 住民票・戸籍・印鑑登録

● 窓口で本人確認を実施しています	39
● 戸籍の届出	39
● 住所の異動届／● 印鑑登録	40
● マイナンバーカード／● 通知カード	41

● 各種証明書／市役所以外での証明 発行[サービスセンターのご案内]	42
---------------------------------------	----

📄 保険・年金

国民健康保険(国保)	43
● 該当する人／● 加入するとき	43
● 加入資格がなくなるとき	43
● その他届出が必要なき	43
● 国民健康保険のサービス	44
● 国民健康保険の保健事業	44
公費医療	45
● 子ども医療／● 重度障害者医療	45
● 未熟児養育医療	45
● ひとり親家庭等医療	45
後期高齢者医療	45
● 後期高齢者医療制度	45
国民年金	46
● 加入区分／● 届出と手続	46
● 保険料を納める方法	46
● 保険料の免除	46

👤 税金

● 市県民税を納める人(納税義務者)	47
● 市県民税が課税されない人	47
● 市県民税の計算方法	47
● 法人市民税の納税義務者	47
● 法人市民税の税率	48
● 軽自動車税年額と廃車等手続先	49
● 固定資産税を納める人(納税義務者)	49
● 税額算定のあらまし	49
● 国民健康保険に加入したときの 国民健康保険税(国保税)	50
各種証明書の手数料	50

👤 健康・健診・予防接種

● 母子健康手帳の交付	51
● 妊婦健康診査／● 成人の健診	51
● 乳幼児健診／● 予防接種	51



**子育て**

● 保育所(園)一覧	52
● 小郡市ファミリー・サポート・センター事業	53
● 一時預かり	53
● 病児・病後児保育事業	53
● 幼稚園一覧／● 幼稚園就園奨励費	53
● 子育て短期入所生活支援事業(ショートステイ)	53
● 学童保育所一覧	54
● 小郡市子育て支援拠点事業	54
● 児童手当・特例給付	54
● 児童扶養手当／● 特別児童扶養手当	55

**介護・福祉**

● 介護保険事業	56
● 一般介護予防事業	57
● 高齢者福祉サービス事業	57
● 高齢者生きがいづくり	58
● 小郡市在宅介護支援センター	58
● 小郡市地域包括支援センター	58
● 福祉タクシー制度	58
● 障がい者福祉	58
● 小郡市社会福祉協議会	60
● 生活保護	61

**環境・ごみ**

● ごみの収集／● し尿の汲み取り	62
● 廃棄物(ごみ)の野焼きについて	63
● 犬・猫	63
● 墓地改葬手続	64

**上下水道**

● 上水道	65
● 下水道事業受益者負担金	65
● 下水道使用料	65

**くらし**

● 市営住宅	67
● 小郡市市民活動保険	67
● 市民相談	68

**教育・生涯学習**

● 小郡市立小中学校への入学について	69
● 転出入時の小中学校の転校手続	69
● 小郡市立小学校	69
● 小郡市立中学校	69
● 小郡市教育センター	70
● 発達に関する教育相談	70
● 就学援助制度	70
● 生涯学習／● スポーツ	71
● 文化会館／● 図書館	72
● 野田宇太郎文学資料館	72
● 人権教育啓発センター	72

**選挙・議会**

● 選挙	73
● 市議会のしくみ	74
● 請願書と陳情書	74
● 傍聴のご案内	74

**生活ガイド**

● 生活ガイドINDEX	75
● 一般社団法人 小郡三井医師会	76
● 一般社団法人 久留米三井薬剤師会	77
● 病院・医院MAP	78
● 病院・歯科MAP	82
● 一般社団法人 小郡三井歯科医師会	84
● 小郡市商工会	85
● 愛車の健康法	86
● 知っておきたい一葬儀編一	88
● 知っておきたい一お墓編一	89
● リフォームの基礎知識	90

こんなときどうするの？

ライフサイクルINDEX



目録のマークの場合には
市役所に届出が必要です



戸籍の届出・各種登録は
市役所へ届け出てください

目録 赤ちゃんが
生まれたら

出生届...39

生まれた日を含め
14日以内に届出



Life

生活

- ▶ 施設...P24・28・71
- ▶ コミュニティバス...P26
- ▶ ごみ...P62
- ▶ 上水道...P65
- ▶ 下水道...P65



目録 市内へ引越して
きたとき

転入届...40

転入後
14日以内に届出

目録 結婚したら

婚姻届...39

届け出た日
から効力

Marriage

結婚

- ▶ 婚姻届...P39
- ▶ 住所の異動届...P40



目録 市内で住まいが
変わったら

転居届...40

転居後
14日以内に届出

Prime of Life

壮年

- ▶ 国民健康保険...P43
- ▶ 国民年金...P46
- ▶ 税金...P47
- ▶ 各種健診...P51



Birth

誕生

- ▶ 出生届…P39
- ▶ 国民健康保険…P43
- ▶ 母子健康手帳…P51
- ▶ 妊婦健康診査…P51



Child Rearing

育児

- ▶ 子ども医療…P45
- ▶ 予防接種…P51
- ▶ 保育所(園)…P52
- ▶ 幼稚園…P53
- ▶ 小郡市子育て支援拠点事業…P54



Emergency

緊急時

- ▶ 防災…P30

Adult

成人

- ▶ 国民健康保険…P43
- ▶ 国民年金…P46



Education

教育

- ▶ 学童保育所…P54
- ▶ 小学校・中学校…P69
- ▶ 教育相談…P70
- ▶ 就学援助制度など…P70



必要の方

印鑑登録 …40



Old Age

老後

- ▶ 後期高齢者医療制度…P45
- ▶ 国民年金…P46
- ▶ 介護保険…P56
- ▶ 高齢者福祉…P57



家族が
亡くなったら

死亡届…39

死亡の事実を
知った日を含め
7日以内に届出





小郡市のあらまし

位置と地勢

小郡市は、福岡県の南部、筑紫平野の北、佐賀県との県境に位置しています。南東を大刀洗町と久留米市に、西は佐賀県、北東は筑紫野市と筑前町にそれぞれ接しています。東西6キロメートル、南北12キロメートルにわたる区域で、総面積は45.51平方キロメートルあります。

東北の台地には標高130.6メートルの花立山があり、西北丘陵地帯は、なだらかな丘陵が連なり、ため池が点在しています。

また、市の中央部を南北に貫流する宝満川を挟んで、西側に住宅地帯、東側に田園地帯が広がっています。

沿革

小郡市の歴史は古く、弥生時代の三沢遺跡や花立山古墳群をはじめとした数多くの遺跡・古墳などが散在し、日本書記には「筑紫小郡」と記されています。筑前、筑後、肥前の境界に位置し、大宰府にも近く、古くから交通の要衝であり、奈良時代には「御原郡衙（小郡官衙（かんが）遺跡）」が置かれました。その後、江戸時代には「薩摩街道」「彦山道」などが松崎周辺を通過し、宿場町として栄えました。

明治22年、町村制の施行により小郡村、三国村、立石村、御原村、味坂村が誕生。

昭和28年、小郡村が小郡町となり、昭和30年に小郡町、三国村、立石村、御原村、味坂村の1町4村が合併し、小郡町になりました。

そして、人口急増により昭和47年に市制を施行し、その後も、市北部の住宅開発などにより人口の増加が続き現在に至っています。

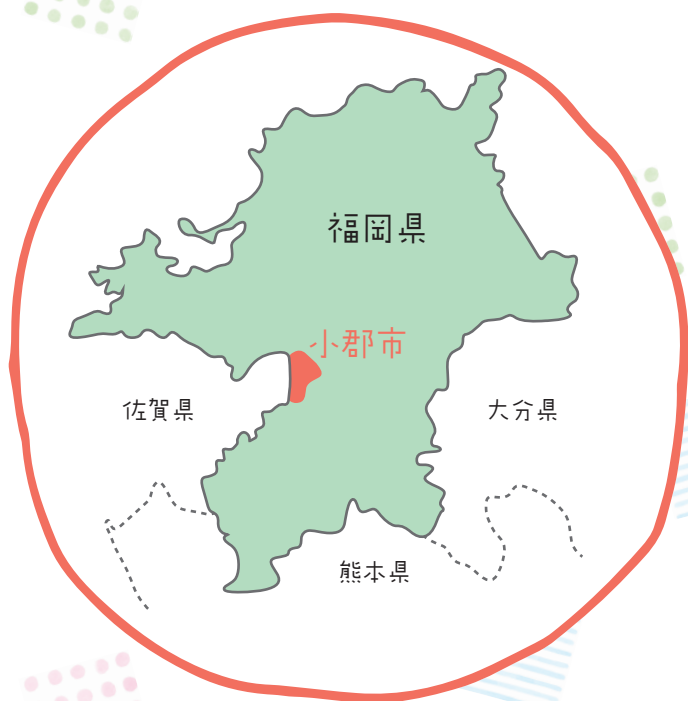
交通条件

市域を九州自動車道と大分自動車道の二つの高速道路が通り、市内に筑後小郡インターチェンジがあります。鳥栖ジャンクションまでもすぐの距離にあり、短時間で広範囲の都市との連絡が可能です。

また、市内を東西に走る国道500号を中心として、縦横に県道や市道などの生活道路が張り巡らされています。

鉄道は、西鉄天神大牟田線が市域を南北に貫き、小郡駅をはじめ7つの駅があり、東西に通じている甘木鉄道では5つの駅があります。

県都福岡市へは鉄道で30分の距離にあり、交通の便がよい都市です。



人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・**おごおり**





市名「小郡」の由来

「筑紫小郡」の名は、持統天皇3年(689年)6月、新羅の使者金道那(こんどうな)を「饗応した」客館として日本書紀にみられます。

小郡市は、往古の筑紫平野の北に位置し、大宰府に近く、博多へ通じる交通の要衝を占め、小郡市中心部(向築地)からは当時の官衙跡が発掘され、「小郡官衙遺跡」として国の指定を受けています。その軍事的・地理的特殊性から、地方官庁所在地として小郡の地名が残し、今に伝えられています。

産業

農業は、小郡市の基幹産業ですが、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

農業を持続的に発展させるため農業の担い手育成と確保のほか、地産地消の推進や産地銘柄の確立、6次産業化の推進が課題です。

商業は、買い物客の市外流出や高齢化などに対応するため、西鉄小郡駅前の商業地の活性化や農業や観光などと連携した活性化に取り組んでいます。

工業は、筑後小郡インターチェンジ周辺や主要地方道久留米筑紫野沿線、鳥栖ジャンクション周辺を中心に事業所が立地しています。交通利便性に優れた地域であることから、特に物流拠点としての立地が期待されています。

観光は、将軍藤や味坂のポピー、花立山など四季折々の豊かな自然と豊富な埋蔵文化財など、自然資源や歴史資源と連携した観光振興に期待が寄せられています。

小郡市徽章

昭和34年10月15日に
条例で制定



由来

漢字の小郡の「小」を図案化したものです。

当時、小郡に多くいた鴨(かも)にちなんで鳥の形に「小」を図案化し、小円の中心から末広がりになった▲(円すい)は市政の発展を意味し、市の中心部の発展をしっかりと抱え込んで、市民の盛り上がる力を意図したものです。

また、円は円満を意味しています。

市の木・花・鳥

昭和57年、市制施行10周年を記念して制定



市の木 くすのき

水と緑、豊かな自然を象徴するかのように、大地にしっかり根を張りたくましくのびています。

市勢の発展、伸びゆく小郡市の力強さ、たくましさ強く感じさせる木です。



市の花 ふじ

福童の大中臣神社にある県指定天然記念物「福童将軍藤」は小郡市のシンボルとして親しまれています。

樹齢650年以上、根元周囲は3メートルに及び、開花時には見事な淡い紫色の花を咲かせる上品で優雅な花です。



市の鳥 しらさぎ

小郡音頭にもうたわれ、市内随所に飛び交っています。

群れをなして飛ぶ光景は情緒があり、田園都市としての市の発展を見守っているようです。



小郡市のあゆみ



市制施行以前の歴史

約2000年前

(弥生時代中期)

4世紀ごろ(古墳時代)

6世紀ごろ(古墳時代)

7世紀ごろ(白鳳時代)

8世紀ごろ(奈良時代)

1359年(室町時代)

1374年(室町時代)

1624年(江戸時代)

1647年(江戸時代)

1668年(江戸時代)

1673年(江戸時代)

1754年(江戸時代)

1772年(江戸時代)

1848年(江戸時代)

1874年(明治7年)

1877年(明治10年)

1889年(明治22年)

1914年(大正3年)

1916年(大正5年)

1921年(大正10年)

1924年(大正13年)

大板井遺跡(大集落)、

小郡若山遺跡(多鈕細文鏡)

横隈狐塚遺跡(共同墓地)

津古生掛古墳、三国の鼻1号墳

(前方後円墳)、津古1・2号墳(前方後円墳)

三国丘陵・花立山麓に群集墳

上岩田・井上に大寺院

小郡官衙遺跡(郡役所)

大保原合戦

福童原の戦い

石井堰築造(干潟)

稲吉堰築造

有馬豊範に松崎藩1万石を分知、

松崎宿設置

津古堰築造

宝暦の農民一揆

大板井堰築造

端間堰築造

松崎郵便取扱所設置、小郡郵便取扱所

(のちの小郡郵便局)設置

乙隈彼岸土居の戦い

味坂村、小郡村、御原村、立石村、

三国村が成立

松崎実業女学校(のちの三井高等学校)

開校、送電開始(小郡)

高松凌雲没(日本赤十字運動の祖)

中央軌道松崎～小郡開通

九州鉄道(のちの西日本鉄道)

福岡～久留米開通



▲コミュニティバス

▼総合保健福祉センター「あすてらす」



1939年(昭和14年)

1947年(昭和22年)

1948年(昭和23年)

1953年(昭和28年)

1954年(昭和29年)

1955年(昭和30年)

1961年(昭和36年)

1962年(昭和37年)

1963年(昭和38年)

1964年(昭和39年)

1967年(昭和42年)

1968年(昭和43年)

1971年(昭和46年)

国鉄甘木線開通

小郡中学校(のちの大原中学校)、立石中学校、宝城中学校開校

三国保育所開所、消防団設置

筑後川大水害、保安隊小郡駐屯地設立、御原保育所開所、小郡村が町制施行し小郡町へ

城山公園開園

小郡町発足(一町四村合併)

商工会(町)設立

町役場新築移転(現在地)

宝満川大水害

農業協同組合(町)設立

福岡小郡電報電話局開局

体育協会(町)結成、社会福祉協議会(町)認可

学校給食センター完成、小郡官衙遺跡国史跡

指定

小郡市の歴史

1972年(昭和47年)

1974年(昭和49年)

1975年(昭和50年)

1976年(昭和51年)

1977年(昭和52年)

1978年(昭和53年)

1979年(昭和54年)

1980年(昭和55年)

1982年(昭和57年)

1983年(昭和58年)

1984年(昭和59年)

1985年(昭和60年)

市制施行、小郡幼稚園開園、大原小学校開校、三井消防署開署、第1回市民花火大会

市体育館完成

三国幼稚園開園、大板井橋開通

柔剣道場完成

三井水道企業団設立、市民館(隣保館)完成、弓道場完成

第1回市民まつり

大崎教育集会所完成、小郡養護学校(のちの小郡特別支援学校)開校

小郡中学校開校、老人福祉センター完成

大崎保育所開所、市の木「くすのき」・花「ふじ」・鳥「しらさぎ」制定

市青少年育成市民会議発足

宝満環境センター完成、小郡高等学校開校、「非核恒久平和都市」宣言

埋蔵文化財調査センター完成

▼昭和46年ごろの西鉄小郡駅



▼市制施行行事



▼クリーンヒル宝満





▲陸上競技場

- 1986年(昭和61年)** 小郡地区コミュニティセンター(健康センター)完成、甘木鉄道(旧国鉄甘木線)第3セクター開業
- 1987年(昭和62年)** 九州横断自動車道開通、筑後小郡インター完成、小郡市市歌発表、小郡市民ふれあい広場(文化会館、市立図書館、野田宇太郎文学資料館、文学散歩公園)完成、甘木鉄道大板井駅開業
- 1988年(昭和63年)** 宝満川浄化センター完成、三井消防署三国出張所開所
- 1989年(平成元年)** 大原リハビリセンター完成、第1回野田宇太郎生誕祭、七夕通り(原田駅大崎線)一部開通
- 1990年(平成2年)** 小郡三井医師会休日診療地域医療センター完成、小郡警察署開署、第1回小郡市民文化祭
- 1991年(平成3年)** シルバー人材センター設立、東野小学校開校、味坂校区公民館完成、ニタ集会所完成、きらめきの塔設置(西鉄小郡駅前広場)、生涯学習推進センター開設、みい農協発足
- 1992年(平成4年)** 東野地域運動広場完成、西鉄三国が丘駅開業、学童保育所開設開始
- 1993年(平成5年)** 御原校区公民館完成、御原教育集会所完成、七夕会館完成、河北苑完成、干潟地区工業団地分譲開始、第1回小郡市民音楽祭(のちの小郡音楽祭)
- 1994年(平成6年)** 陸上競技場完成、三国中学校開校、第1回小郡市民ふれあい運動会
- 1995年(平成7年)** 小郡地域運動広場完成、野球場(小郡運動公園)完成、たなばた地域運動広場完成、宝満ふれあいセンター完成、くろつち会館完成
- 1997年(平成9年)** 小郡駅前土地区画整理事業完成
- 1998年(平成10年)** 「リサイクル推進都市」宣言
- 1999年(平成11年)** 上岩田地区工業団地分譲開始、のぞみが丘小学校開校、のぞみがおか生楽館開館
- 2000年(平成12年)** 子育て支援センター開設
- 2001年(平成13年)** 市男女共同参画社会推進審議会発足、市観光協会発足、おごおり国際交流協会発足
- 2002年(平成14年)** ふれあい館三国開館、甘木鉄道今隈駅開業
- 2003年(平成15年)** 甘木鉄道大板井駅高架駅開業
- 2004年(平成16年)** 七夕通り(原田駅大崎線)全線開通、総合保健福祉センター「あすてらす」完成、サービスセンター運用開始、コミュニティバス運行開始、生涯学習センター(旧七夕会館)開館、第1回あすてらすフェスタ



▲小郡市民ふれあい広場



▲駅前土地区画整理事業



▲三国が丘駅

- 2005年(平成17年)** 小郡交流センター(旧老人福祉センター)開館、人権教育啓発センター(旧健康センター)開館、古代体験館おごおり(埋蔵文化財調査センター増築)開館
- 2006年(平成18年)** 高齢者社会活動支援センター開館
- 2007年(平成19年)** 立石小給食調理施設竣工、ひまわり館東野開館
- 2008年(平成20年)** クリーンヒル宝満竣工、福童浄化センター供用開始
- 2009年(平成21年)** 小郡市消防団特別表彰「まとい」受章
- 2010年(平成22年)** 人権のまちづくりふれあい公園完成、九州歴史資料館開館
- 2011年(平成23年)** 大保・今隈10号線供用開始、小郡市教育センター開館、二森・八坂34号線開通
- 2012年(平成24年)** 端間駅東側駅前広場供用開始
- 2013年(平成25年)** 新端間橋・満天橋開通
- 2014年(平成26年)** 都市計画道路本郷・基山線開通
- 2015年(平成27年)** 市庁舎本館耐震工事、小郡市観光大使オリリン・ヒコリン誕生
- 2017年(平成29年)** 大原きぼうの森館開館、県道久留米小郡線開通、沖縄県本部町と「友好のまち協定」締結

▼小郡市人口の推移(各年4月1日 資料:市民課)

	世帯数	人口		
		総数	男	女
昭和 47 年	7,988	32,217	15,577	16,640
昭和 57 年	11,560	42,601	20,437	22,164
平成 4 年	14,580	48,288	23,129	25,159
平成 14 年	18,841	56,137	26,803	29,334
平成 24 年	22,090	59,227	28,183	31,044
平成 29 年	23,741	59,257	28,251	31,006

(平成25年から外国人人口を含む)

▼七夕通り(原田駅大崎線)全線開通



▼九州歴史資料館



小郡市ガイド

小郡市マップ





出会い、触れあい 巡り会い
ますます愛しい 小郡の町並み





イベントカレンダー

年間

シーズンごとのイベント大好評!

1 月

1日 歳旦祭 御勢大霊石神社

中旬 左義長・どんど焼き 市内各所

13日 (9月13日) 虚空蔵さん祭り 日吉神社(小郡)

17日 火渡り 如意輪寺

2 月

6日 粥占い 御勢大霊石神社

上旬 (初午) 初午祭 黒岩稲荷神社

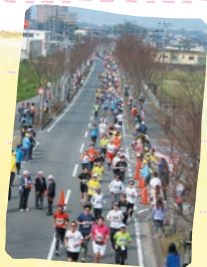
第2日曜日 おごおり音楽祭 文化会館

中旬 節分祭 如意輪寺

3 月

11日 粥占い 大中臣神社

第4日曜日 福岡小郡ハーフマラソン大会



陸上競技場 (小郡運動公園内) スタート

小郡運動公園周辺をスタート・ゴールとする日本陸連公認コースで、薩摩街道を走り記録も狙いやすい。



4 月

4月上旬 新酒まつり 森山酒造(株)

4月下旬～5月上旬 将軍藤まつり 大中臣神社

和様唐様の楼門で有名な大中臣神社の境内に咲く藤は、樹齢が650年と推定されていて、1970年に福岡県の天然記念物に指定されました。広さ500平方メートルの棚から垂れ下がる濃い紫色の花は、長いものは1.5mにもなり、豪華けんらん。



5 月

3日 花立山 春の茶会 城山公園

中旬 味坂ポピー祭り 味坂ポピー園

約23,000平方メートルの農地いっぱいポピー約100万本が咲き誇ります。地元特産物コーナーや地域団体によるお弁当店などが出店されます。



6 月

6日 かえる記念日 如意輪寺

7 月

17日 夏の大祭 如意輪寺

下旬 茅の輪くぐり 市内各所

下旬 祇園神社の夏祭り 祇園神社





小郡市には、600年の伝統を持つ祇園祭から七夕にちなんだ市民総参加の夏まつりまで多彩な祭やイベントがあります。地域住民や市民が一体となるこうした祭りやイベントを継承し、その輪を広げて行くことは街の活性化にもつながるもの。小郡市では、伝統の祭りや市民が創る新しいイベントなどの支援を通して地域の活性化をすすめています。



8 月

上旬

夢HANABI



📍 小郡運動公園前(宝満川河川敷)

7日

七夕神社の夏祭り

📍 七夕神社

毎年8月7日に行われる夏祭り。境内には、七夕飾りや、祭り提灯、全国から寄せられた色とりどりの短冊をつけた笹竹が飾り付けられます。また、夜には多くの夜店が並び、特設ステージでさまざまな催しが行われます。



下旬

小郡市民まつり

年に一度行われる小郡市民まつりは、出逢いとめぐり逢い「七夕の里おごおり」を象徴する夏の風物詩となっています。

駅前的大通りには多くの屋台が立ち並び、その先には野外ステージが設けられ、織姫と彦星の七夕伝説など、たくさんのイベントが行われます。

📍 西鉄小郡駅前大通り



9 月

13日

虚空蔵さん祭り

📍 日吉神社(小郡)

中旬

放生会

📍 天満輪荷神社(松崎)

10 月

上旬

市民ふれあい運動会

📍 陸上競技場(小郡運動公園内)

中旬

御原校区コスモス祭り

📍 あすてらす

16日

人形注連

📍 老松神社(上岩田)

17日

早馬祭

📍 天満神社(乙隈)

下旬

あすてらすフェスタ

📍 あすてらす



11 月

3日

花立山 秋の収穫祭

📍 城山公園

第3
日曜日

早馬祭

📍 隼鷹神社

中旬

小郡市民文化祭

📍 文化会館、生涯学習センター

下旬

小郡オータムフェスタ

📍 生涯学習センター



「恋人の聖地」おごおりにちなんだ秋の一大イベント。市内外のスイーツ店による特別なスイーツの販売やお菓子のイベントが盛りだくさん。





★七夕★の★里★ おごおり



夢織りなす、
七夕伝説

小郡市中央を南北に流れる宝満川、そして、その両岸に建てられた七夕神社と老松宮。この地形は、天の川に隔てられ、年に1度、七夕の夜に出会う織姫と牽牛(彦星)の天上の物語を地上に配したようになっています。

七夕神社・老松宮の存在、宝満川と両神社の地形が中国で七夕伝説の発祥地といわれている漢水周辺の地形に酷似していることから、日本でも早い時期に七夕伝説が根付いた地域であるといわれています。



七夕の里おごおり にちなんだ お祭り

七夕神社の夏祭り



毎年8月7日に行われる七夕神社の夏祭り。子どもこしや獅子が各氏子宅(大崎区)を回る伝統行事も行われています。

境内には、七夕飾りや祭り提灯、全国から寄せられた色とりどりの短冊が笹竹に飾り付けられます。また、多くの夜店が並び、特設ステージで、多彩な演芸が催され夏の夜のひとときを楽しむことができます。

小郡市民まつり



年に一度行われる小郡市民まつりは出逢いとめぐり逢い「七夕の里おごおり」を象徴する夏の風物詩となっています。

駅前的大通りには多くの屋台が立ち並び、その先には野外ステージが設けられ、織姫と彦星の七夕伝説など、たくさんのイベントが行われます。



七夕神社(媛社神社)

地元では親しみを込めて「七夕さん」と呼ばれており、その歴史は古く、8世紀頃に記された「肥前国風土記」に登場します。

七夕神社には、織女神(織姫)がまつられています。機織りの技術を身に付けた方であるとい伝えられ、女性の信仰を集めた神であるとされています。

毎年8月7日には夏祭りが開催され、当日は全国各地から願いが込められた約30万枚の短冊が飾り付けられ、多くの人で賑わいます。



老松宮(牽牛社)

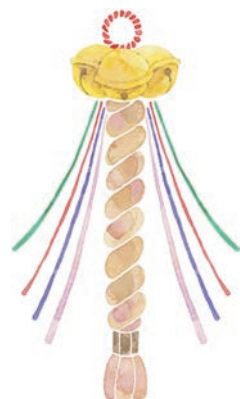
「七夕神社」から宝満川をはさむ対岸にかつて「牽牛社」が建立されていました。牽牛・織姫が天の川に隔てられ、年に一度、七夕の夜に出会うという故事にちなんで建立されたと思われる、西暦1200年～1300年の鎌倉時代に建てられたとの説もあります。現在、牽牛社は老松宮に移され合祀されています。

老松宮には、犬飼神(牽牛)がまつられています。



開 恋人の聖地

「恋人の聖地」となった七夕の里へ
出逢いの旅に出かけてみよう



小郡市
観光大使
オリリン ヒコリン
ORIRIN & HICORIN

新・七夕伝説とは

新・七夕伝説は、小郡の観光の柱である「恋人の聖地」と「七夕の里」をPRするために創作した、小郡市を舞台にした新しい七夕の物語です。この物語の主人公がオリリンとヒコリンです。



Lover's
Sanctuary
恋人の聖地

NPO法人 地域活性化支援センターが日本全国のプロポーズにふさわしいロマンチックな場所を「恋人の聖地」として選定しています。小郡市は、平成25年10月に七夕神社とその周辺の縁結びに関連するスポットが「恋人の聖地」に選定されました。



七夕神社 (大崎)

「七夕神社」には、媛社神と織女神がまつられています。裁縫や機織りが上達し、良縁が得られると伝えられていました。



老松宮 (縮吉)

老松宮には織女神と相思の仲である牽牛の木像がまつられています。宝満川を天の川に見たて、織女と牽牛を配する昔の人の信仰のロマンが感じられます。



小郡運動公園内にある 噴水と像(大保)

運動公園内の道路を隔て、牽牛・織姫
それぞれの噴水と像があります。



恋人の聖地 スポット



きらめきの塔 (西鉄小郡駅前)

牛に乗った織姫と牽牛が寄り添っ
ている姿を見ることができます。



天の川大橋 (大崎・二森)

小郡市を流れる宝満川にかかる天
の川大橋。橋の中間地点では織姫と牽
牛の欄干飾りが向かい合っています。



日吉神社 (小郡)

日吉神社には幹の途中から2
本にわかれた夫婦銀杏がありま
す。この木の銀杏を食べると子
宝に恵まれるといわれています。

如意輪寺の愛染明王



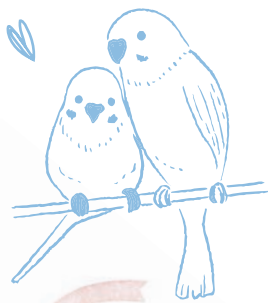
愛嬌たっぷりの
夫婦かえる



如意輪寺 (横隈)

如意輪寺には、かえるの像や置物が約5,000
体あり、別名かえる寺と呼ばれています。

お寺の愛染明王を拝むと、恋愛が成就すると
いわれています。





小郡官衙遺跡群

国指定史跡

小郡官衙遺跡

宝満川の西台地に広がる小郡官衙遺跡（おごおりかんがいせき）は、7世紀末から8世紀前半（今から1300年前）につくられた筑後国御原郡（ちくごこくみはらぐん）の役所のあとです。発見されたのは1967年のことで、溝の中から数百本の鉄製の矢じりが出土しました。東に2.1kmに位置する上岩田遺跡から役所がこの地に移転し、その後、さらに大刀洗町下高橋官衙遺跡（しもたかはしかんがいせき）に移ることが明らかとなっています。

この遺跡は、建物の向きから大きく三つの時期に分けられます。

中心となる7世紀末から8世紀前半の第2期には、溝に囲まれた一辺240mの区画の中に建物がありました。役所の政務を行う「庁舎」、役人の宿舎である「官舎」、税として取り立てた米を蓄える「倉庫」の3種類の機能を持つ建物が、計画的に配置されていました。

続く8世紀中頃からの第3期になると、建物の配置が大きく変化し、主軸が真北にそろえられます。築地堀と2本の溝で囲まれた南北180m、東西120mの広い区画が見つっていますが、同時期の建物は区画の外側にあり、何に使われた区画なのかはまだ分かっていません。

小郡官衙遺跡は、古代の役所の典型的な構造を知るうえで高い価値があるとして、国指定史跡になっています。

小郡

国指定史跡



小郡官衙遺跡群

上岩田遺跡

上岩田

上岩田遺跡（かみいわたいせき）は、7世紀後半ごろ（今から1350年前）の役所のあとです。工業団地造成の際に発掘調査が行われ、その歴史的価値の高さから、2000年に国指定史跡となりました。

東西約18m、南北約15mの大きさに土を盛り、つき固めた基壇があり、その上には瓦葺きの建物が建っていました。これは寺院の金堂と考えられ、九州では最古級のもです。さらに柵や門に囲まれた同じ敷地内には、真北方向の大型の掘立柱建物群（ほったてばしらたてものぐん）が並んでいます。

調査から、寺院とこの大型建物群が一体となって役所を構成していたとみられ、信仰を利用して中央政権が地方の統治を進めたことを示す非常に貴重な史跡だと考えられます。その後、西2.1kmに位置する小郡官衙遺跡に役所が移転することがわかっています。

なお、頑丈な基壇にたくさんの地割れがあり、周辺には古瓦が散乱していました。瓦葺き建物と多くの建物は地震のために倒壊したと推測されます。この地震は『日本書紀』にある678年の「筑紫国地震（つくしこくじしん）」とする説が有力です。

市指定有形文化財

大中臣神社楼門



「將軍藤」で有名な大中臣神社（おおなかとみじんじや）にある楼門です。三間一戸の入母屋造りで屋根は瓦葺きです。虹梁には牡丹と菊の彫刻が施され、隅柱の上には動物を模した木鼻がついています。現存する楼門は天保年間に再建されたものですが、すでに江戸時代前期には茅葺きの楼門があったことがわかっています。

福童

御勢大霊石神社

大保

御勢大霊石神社（みせたいれいせきじんじや）は「延喜式内社筑後四社」のひとつで、主祭神は第14代仲哀天皇です。伝承によると仲哀天皇は熊襲征伐にあたり、行宮をここに設けましたが、敵の毒矢に当たりこの地で亡くなったと言われています。その後、妻である神功皇后は、石に仲哀天皇の御鎧・兜を着せて軍船に寄せ、朝鮮へ兵を送り、凱旋後はその石を大保へまつたと伝えられています。今、社前にある石がこれで、御勢大霊石といわれています。

有景指定文化財

木造如意輪観音立像

如意輪寺は、奈良時代に僧行基が創建したと伝えられています。本尊の如意輪観音（いよりりんかんの）像は檜材の一木造りで、立ち姿でつくられています。一般に如意輪観音は座った姿であらわれるものであり、立像というのは全国でも非常に珍しいものです。製作時期は平安時代末と想定されています。十二年に一度、巳年に開帳され、「意の如くなる」、つまり思いがかなう観音様としてあつい信仰を集めています。

横隈



市指定
有形文化財

旧松崎旅籠油屋

松崎

松崎宿に現存する「油屋(あぶらや)」は江戸時代後期に建てられ、今も江戸時代の旅籠(はたご)建築の姿を残しています。大きく、「主屋」(通称:油屋)と「座敷」(通称:中油屋)からなり、「主屋」には一般の旅人客を、「座敷」には武士などの身分の高い賓客を泊めたと考えられています。旅籠建築としては非常に大型で、松崎宿のなかでも大名を泊める本陣・脇本陣に次ぐ扱いを受けていたと考えられています。西郷隆盛が宿泊したという言い伝えが残っているほか、乃木希典が昼食をとったことがその日記から明らかになっています。

2015年3月には、座敷の復原工事が完了し、公開しています。同年8月から、主屋の解体・復原工事が進められています。

市指定
有形文化財

乙隈



筑後・筑前国境石

「従是南筑後国(これよりみなみちくごく)」「従是北筑前国(これよりきたちくぜんこく)」銘を持つ国境石は旧薩摩街道に面して今もその威容を誇ります。筑後の久留米藩と筑前の福岡藩の国境に建てられていたものです。筑後国の境石は「小都市乙隈字境石」、筑前国の境石は「筑紫野市大字西小田字筑前島」という住所で、江戸時代の国境は今も小都市と筑紫野市の境界として踏襲されています。

名馬池月の塚



八坂

伝承によると、鎌倉時代の武将である佐々木高綱は、名馬「池月(いけづき)」に乗って領地をまわり、子の利綱も「池月」をわが子のように大切にしました。領民たちも、領主の名馬「池月」をこの上もなく愛し、領地をかけめぐる「池月」を仏の化身として信仰しました。名馬「池月」が倒れると、その遺体をこの塚に葬ったといわれ、「名馬池月の塚」として今も大切にされています。

「高松凌雲先生誕生の地」碑



天保7(1836)年、古飯の庄屋高松家の三男として生まれた高松凌雲(たかまつりょううん)は、24歳の時に医学の道を志します。慶応2(1866)年には、15代將軍徳川慶喜の奥詰医師を命ぜられ、翌年、パリ万国博覧会に派遣された幕府使節団に随行し、パリの病院で医学を学びました。箱館戦争の時には、病院頭取として敵味方の別なく、傷ついた兵たちの治療にあたりました。明治12(1879)年には医師仲間と「同愛社」を設立し、貧民施療に努めました。凌雲の生家には、碑が建てられ、業績をたたえています。

古飯

三国境石

希みが丘

三国とは、筑後国(小都市)、筑前国(筑紫野市)、肥前国(佐賀県三養基郡基山町)のことで、江戸時代の文化年間にこの三国の境界点に建てられたのが「三国境石(さんごくさかいいし)」です。境石は高さ127cm(約4尺)、直径28cm(約1尺)の円柱で、三方に「三国境石」と刻まれています。江戸時代はこの付近は三国坂と呼ばれた険しい峠だったそうで、その峠に立っていました。現在の麻生学園小学校の敷地内にあります。

古代体験館おごおり
(市埋蔵文化財調査センター)

三沢

市内の遺跡から出土した資料の整理・収蔵を行い、また、展示室や研修室、体験学習室ではさまざまなイベントを企画しています。「文化財を活かす」「文化財を広める」「文化財を守る」の3つの柱をもとに活動しています。

HP: <http://www.kodaitaiken-ogori.jp/>



見頃：
3月下旬



宝満川の菜の花

見頃：
4月下旬～
5月中旬

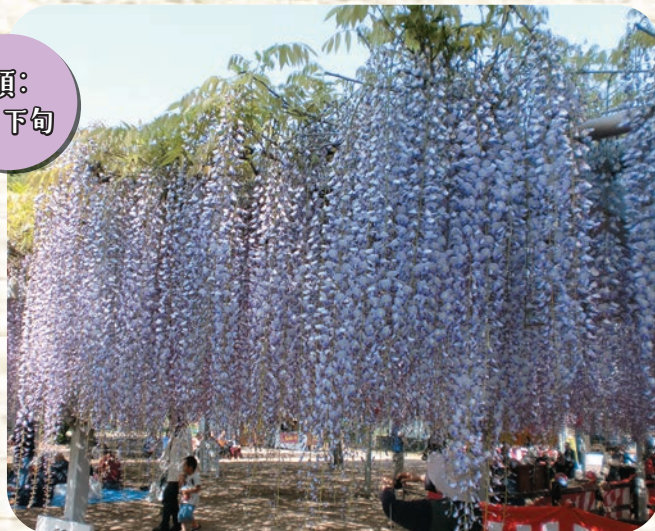


城山公園のつつじ

📍 花立山（城山公園）

花立山は、小郡市の北東にあり、海拔130mで、かぶとの形をした美しい姿の山です。地元では、権現山や城山ともよんでいます。小鳥のさえずりが聞かれ、麓の城山公園では、ボートが楽しめるほか、バーベキューもできます。春には桜・つつじ、夏には菖蒲、秋冬ともなれば、池に浮かぶ鴨の群れが見ものです。

見頃：
4月下旬



大中臣神社の 將軍藤

📍 大中臣神社

4月中旬から5月上旬にかけて、將軍藤祭りが行われ、毎年多くの花見客を集めています。

自然景観

見頃：
5月上旬
～中旬



味坂の ポピー

📍 味坂ポピー園

約23,000㎡の農地いっぱいにポピーが咲き誇ります。この時期にあわせてポピーまつりが行われます。





見頃:
6月上旬

黒岩縮荷神社の あじさい

やさしい風、
木々からあふれる木洩れ日、
小郡の自然で戯れよう



見頃:
6月上旬

城山公園の 菖蒲



見頃:10月

あすてらす付近のコスモス



如意輪寺の紅葉



七夕通りの 銀杏



もぐもぐ 特産品



はちみつ



洋ラン



小郡銘菓



手作り味噌



七夕にちなんだ
お菓子たち



街のチカラ
織姫が愛した、
おごおりの味とカタチ





小郡市には、大小約60か所のため池があり、かつて冬場には、たくさんの鴨が群れをなし渡ってきていました。

江戸時代には有馬藩の御用猟場、明治以後も鴨の狩猟場として保護され、皇室に献上されたこともある、小郡名物の「鴨料理」。味の贅を、心ゆくまでお楽しみください。

香り 味わい 小郡風味



野菜・米

鴨料理



奈良漬け



伝統の味
お土産にも喜ばれる
小郡のお酒



牽牛(吟醸)

織姫(純米)



本醸造
七ツ子



月の桂

珈琲まんじゅう「儂ら」

コーヒーを用いた和菓子のコンテストでグランプリを受賞した逸品!

コーヒー好きであって小郡出身の詩人野田宇太郎にちなんで生まれたもので、コーヒーを練りこんだ生地
で、コーヒーゼリー入りの
ミルクあんを包み
こんだ和菓子
です。



七夕神社でお祓いを
受けた種子でつくった、
旧暦の七夕期間のみ味
わえる特別な黒豆の枝
豆です。

七夕枝豆

雨上がり

薩摩街道の宿場町であつた、
松崎宿の北構口にある石垣の
雨上がりをイメージして名づけ
られたお菓子。

クッキー生地の上にアーモン
ドを敷き詰め
て焼いたクッ
キーです。



小郡市生涯学習センター

☎ 0942-73-2084
📍 小郡市
大板井1180番地1



生涯学習センターは、広く市民の皆さんの生涯学習の拠点となる施設です。

350人収容の七タホール、絵画や書道の作品展示場として利用できる市民ギャラリー、天体望遠鏡を備えた天体ドーム、研修室や会議室が設置されています。

生涯学習センターへようこそ！



⑫ラウンジ
談話スペースとして自由にご利用いただけます。お昼の時間帯はカフェが営業をしています。

正面口

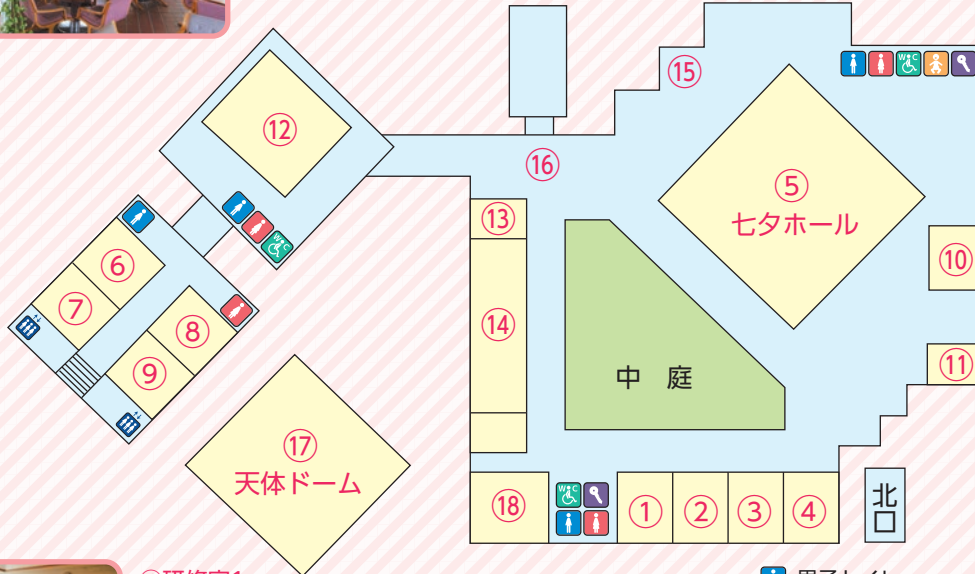
⑬受付窓口
⑭事務所
⑮貸出ロッカー
⑯エントランスホール



⑤七タホール
350人収容の多目的ホールです。講演会や舞台発表会など幅広く使えます。



⑩楽屋1 (大)
⑪楽屋2 (小)
ホール使用時などの控え室としての使用の他、少人数での打合せなどにも使えます。



⑥研修室1
⑦研修室2
会議などの使用の他、工作室としても使えます。連結しての使用も可能です。



⑧市民ギャラリー1
⑨市民ギャラリー2
展示会などの使用の他、ダンスなどの軽運動サークル活動にも使えます。連結しての使用も可能です。



⑰天体ドーム
44.8㎡の観測ドームを備えています。



⑱パソコンルーム
パソコンを使った研修などに適しています。

♂ 男子トイレ
♀ 女子トイレ
♿ 障害者用トイレ

👶 乳幼児用設備
🔑 コインロッカー



①会議室1・和室
15畳和室です。



②会議室2
③会議室3
④会議室4

サークル活動や会議などに使用できます。目的や内容に応じて、連結しての使用も可能です。

申込方法

受付時間(窓口)	午前8時30分～午後5時
申込方法	生涯学習センター使用許可申請書に必要事項を記入の上、センター(文化会館)の窓口でお申し込みください。 電話、ファクス等での予約は受け付けません。 施設使用料は、申請時に納入していただきます。 申請書は小郡市ホームページからダウンロードできます。
利用時間	午前9時～午後10時 (準備・後片付けを含む) ※夜間の部屋貸出がない場合は、午後7時で閉館します。
休館日	毎月第3日曜日、12月28日から翌年1月4日まで。休館日は都合により変更になることがあります。

※土、日、祝日の受付は、文化会館事務室(9:00～17:00)で行っています。
(文化会館TEL:0942-72-3737)

※使用料、時間等、会場使用予約についての詳細はお問い合わせください。
※市行事等で使用できない日もあります。あらかじめご了承ください。

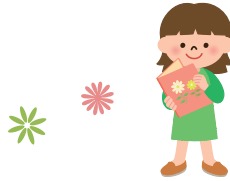


小郡市立図書館

☎ 0942-72-4319

📍 小郡市大板井136番地1

蔵書約238,000冊、年間貸出冊数約401,600冊。毎日たくさんの方が訪れる市立図書館は、市民の皆さんの憩いの場となっています。



小郡市ガイド

利用案内 資料の貸し出しには、利用券が必要です。

開館時間	午前10時～午後6時、金曜日のみ 午後8時まで
休館日	毎月第1、第3月曜日（図書整理日）、毎月最終水曜日（定期清掃日） 年末年始、特別整理期間（2週間程度）
貸出冊数・期限	図書：15冊、AV資料4点、期限：2週間
返却ポスト	市内6か所にラッコが描かれた銀色の返却ポストが設置されています。毎日回収をしています。 ポストに返却できるのは、図書資料だけです（AV資料は破損のおそれがあるため、返却しないでください）



※移動図書館車「しらすぎ号」も、市内各所のステーションで、資料の貸し出しを行っています。
「しらすぎ号」の巡回日時については、小郡市立図書館ホームページをご覧ください。

野田宇太郎文学資料館

図書館内にある野田宇太郎文学資料館は、小郡市出身の詩人・野田宇太郎の遺言によって寄贈された資料約3万点をもとに開館しました。

近代文学の名著の初版本や明治・大正の文芸雑誌、著名な詩人・作家の原稿や書簡などの肉筆文献、さらに野田のライフワークである文学散歩により収集された新たな文献、古地図、記録写真など、近代文学・文学史の研究にとってかけがえのない貴重な資料を所蔵しています。資料をご覧になりたい方は、事前に電話予約が必要です。

☎ 0942-72-7477



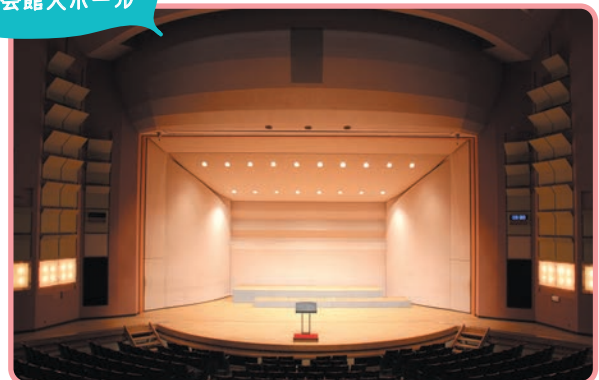
文化会館

☎ 0942-72-3737

📍 小郡市大板井136番地1

文化会館は、地元の文化団体などのコンサートや観劇、講演会などが行われ、文化活動の拠点となっています。音響効果に優れた本格的ホールは、利用した演奏家や声楽家から高い評価を得ています。

文化会館大ホール



文化会館小ホール





小郡市

コミュニティバス 路線図

平成29年
12月1日現在

小郡市民の生活
グレードアップ



▲(7)大保・文化会館
ルート運行車両

小郡市では、市内を7つのルートに分け、
コミュニティバスを運行しています。





運行ルート

- ①古飯・今朝丸ルート
- ②端間・大原ルート
- ③横隈・津古ルート
- ④下岩田・乙隈ルート
- ⑤東野・美鈴が丘ルート
- ⑥井上・今隈ルート
- ⑦大保・文化会館ルート
- 共通ルート

運休日

日曜日・祝休日
年末年始

(12月31日～1月3日)



このマークがバス停の目印です

乗継制度

(7)大保・文化会館ルートと(1)古飯・今朝丸ルート、(2)端間・大原ルート、(3)横隈・津古ルート、(4)下岩田・乙隈ルート、(5)東野・美鈴が丘ルート、(6)井上・今隈ルートを文化会館で乗継する場合には、一乗車分の100円で済みます。乗継券は最初に乗車した車両で受け取ることができます。乗継については、以下のとおりです。

- ・乗継券発行時間の1時間以内で有効です。
- ・イオン小郡SC乗降のみに限ります。(途中下車は対象になりません。)

運賃



一般
(小学生以上)

100円



幼児
(小学生未満)

無料

乗継イメージ

行き

ルート((1)～(6)) → 文化会館(乗継) →
→ (7)大保・文化会館ルート(イオン小郡SC 下車)

運賃
100円

帰り

(7)大保文化会館ルート(イオン小郡SC 乗車) →
→ 文化会館(乗継) → ルート((1)～(6))

運賃
100円

MEMO





総合保健福祉センター

「あすてらす」

私たち市民の保健・福祉の拠点として、2004年（平成16年）7月1日、小郡市総合保健福祉センターがオープンしました。

総合保健福祉センターの愛称は「あすてらす」。

それは、私たち市民が、現在・将来を「健康で安心して暮らせる街」をつくるための拠点として、「明日」を「照らす」という願いが込められています。

また、「US」「TERRACE」、私たちが集まるテラス「庭」という思いも込められています。

- 〒838-0126 小郡市二森1167-1
- 0942-72-6666
- 0942-72-6477
- 午前9時～午後10時
- 毎月第4水曜日
(但し、祝日にあたるときはその翌日)
12月28日～翌年1月4日
(満天の湯は12月30日～翌年1月2日)

利用案内

健康増進プール(歩行専用)・トレーニング室

- 午前 … 10時～正午(受付:11時30分まで)
- 午後 … 1時～5時(受付:4時30分まで)
- 夜間 … 6時～9時(受付:8時30分まで) ※月曜～金曜のみ
- ※高校生以上のみご利用できます。
- ※市主催の健康教室などのため個人利用ができない日があります。

¥	料 金
健康増進プール	210円/1回(2時間)
トレーニング室	210円/1回(2時間)
回数券	2,100円/11回 (健康増進プールおよびトレーニング室兼用)



満天の湯

- 午前10時～午後9時 ※受付は午後8時まで

¥	区 分	料 金
入場料	小学生未満	無料
	小・中学生	260円
	高校生以上	午後6時まで 午後6時から
	高齢者・障がい者・ひとり親 家庭等・要介護者※	520円 260円
回数券 (11枚券)	520円チケット	5,200円
	260円チケット	2,600円
ギフト券	520円券	520円
	260円券	260円
家族風呂	50分	830円 入場料は別途徴収
交流プラザ 娯楽室		無料 入場料は別途徴収
音楽教養室	1時間	520円 入場料は別途徴収



※

1. 高齢者とは65歳以上の人です。
2. 障がい者とは、身体障害者手帳、療育手帳または精神保健福祉手帳の交付を受けている人です。
3. ひとり親家庭等とは、ひとり親家庭等医療証の交付を受けている人です。
4. 要介護者とは、要介護1から5の認定を受けている人です。
※障がい者・要介護者の介助者1名は130円(要手帳提示)。
5. 使用料には、消費税および地方消費税を含みます。
6. 利用時間には、準備と後片付けの時間を含みます。
7. 利用時間が1時間未満のときは、1時間とします。
8. 家族風呂および音楽教養室は、予約制とします。
9. 音楽教養室では、1曲ごとの料金は徴収しません。
10. ギフト券の販売は1枚単位とし、額面が同じギフト券を10枚以上購入の場合、10枚ごとにその額面のギフト券を1枚無料で交付します。
11. 午後6時以降の入場者が回数券およびギフト券を利用して入場する場合、入場料の差額は返金しません。



行政ガイドINDEX

 もしものときに 30	 介護・福祉 56
 市役所案内 35	 環境・ごみ 62
 住民票・戸籍・印鑑登録 39	 上下水道 65
 保険・年金 43	 くらし 67
 税金 47	 教育・生涯学習 69
 健康・健診・予防接種 51	 選挙・議会 73
 子育て 52	

